

生体弁 AVR 後の TAVI (TAV in SAV) の中期成績

1. 研究の対象

2018年～2025年12月31日の期間において当院でTAV in SAVを行った症例の中期成績

2. 研究目的

当院では大動脈弁置換術後の生体弁機能不全に対する経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAV in SAV) を2018年から開始してきた。小さな生体弁に対するTAV in SAVは予後不良 (PPM問題) とのデータが海外から示されているが、小柄な日本人に対するTAV in SAVの研究報告はまだ少ない。当院では小さな生体弁AVR後の症例に対するTAV in SAVを実施してきた。

今回は、TAV in SAV 後の中期成績を検討し、小柄な日本人で PPM 問題が発生するのかどうか、さらに中期成績についても検討したい。

3. 方法

電子カルテ、手術記録よりデータ収集

○TAVI前の症例情報、○TAVIの手術情報、○TAVI直前後、半年後、1年後、2年後の心エコーデータなど

4. データ分析

生体弁の種類とサイズ、手術術式、合併症、術後の人工弁関連イベントの発生、術後の血行動態などを解析する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類：電子カルテ、手術記録よりデータ収集

○TAVI前の症例情報、○TAVIの手術情報、○TAVI術直前後、半年後、1年後、2年後のエコーデータなど

6. 外部への試料・情報の提供：なし

7. 研究組織

心臓病センター榊原病院

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：心臓血管外科 吉鷹秀範

研究責任者：心臓血管外科 吉鷹秀範